

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 理念や目標が、入居者のケアに直結できているかの検証が必要である。	年度毎に施設目標、ユニット目標、職員個人目標を掲げる。	目標を掲げ、評価し振り返る機会を作る。	12ヶ月
2	6 11	○身体拘束をしないケアの実践 ○運営に関する職員意見の反映 ケアの充実を図る必要がある。ご利用者へ「ちょっと待って、座っていて」のどのスピーチロックをなくす。	職員同士が注意喚起を図れるような職場作りを構築する。	定期的な勉強会の実施、個人面談の実施、風通りの良い職場環境の構築を行い、職員が楽しく仕事を出来る環境作りを行う。	3ヶ月
3	40	○日々のその人らしい暮らし ○食事を楽しむことのできる支援 コロナウイルス感染予防の為に、外部との接触や外出支援が出来ていない状況である。	入居者の楽しみを見出す。	外出支援のみでなく、嗜好品や施設内で楽しめる趣味活動を行っていく。(料理や昔遊ぶなど)	3ヶ月
4	4	○事業所と地域とのつきあい ○事業所の力を活かした地域貢献 ○運営推進会議を活かした取り組み コロナウイス感染予防で、運営推進会議やご家族との交流が出来ていない。	外部との交流を図り、外部からの意見を散り入れる。	近隣住民との交流、ご家族との連絡、感染予防を徹底して2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、外部からの意見をもらい、改善を図る。	3ヶ月
5					3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。